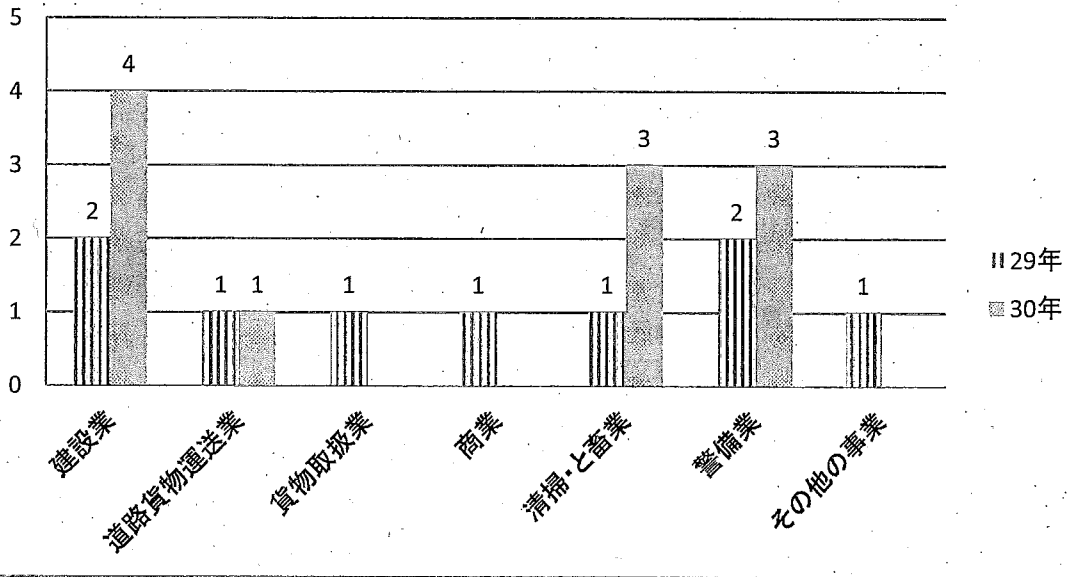


平成30年の東京の熱中症による 労働災害発生状況 (平成30年8月2日現在)

(人)

(休業4日以上)



平成30年の東京の熱中症による労働災害事例 (8月2日現在)

月	時間	気温	休業日数等	業種	職種	発生状況の概要
					年齢	
5月	16時台	24.5℃	約3か月	建築工事業	作業員・技能者	被災者は建設現場ではつり作業後、休憩していたところめまいを起こし転倒したため、病院へ搬送された。
					70歳以上	
					30年以上	
6月	14時台	19.7℃	約1週間	清掃・と畜業	作業員・技能者	被災者はリサイクルプラント内で産業廃棄物の選別作業を行っていたところ、体調が悪化したため自宅で休養していたが、回復しなかったため病院を受診した。
					40歳代	
					1年未満	
7月	11時台	28.8℃	約2週間	清掃・と畜業	作業員・技能者	被災者は公園の維持管理作業を行っていたところ、体調が悪化したため病院へ搬送された。
					70歳代	
					1年以上5年未満	
7月	14時台	31.8℃	約1週間	土木工事業	作業員・技能者	被災者は舗装工事現場で、ダンプトラックの荷台からスコップで資材を降ろしていたところ、体調が悪化したため病院へ搬送された。
					20歳代	
					1年以上5年未満	
7月	16時台	32.5℃	約1週間	土木工事業	作業員・技能者	被災者は人工海岸整備作業で、砂の袋詰め作業後、体調不良となり、翌日病院で治療を受けた。
					50歳代	
					20年以上30年未満	

月	時間	気温	休業日数等	業種	職種	発生状況の概要
					年齢	
					経験	
7月	14時台	33.1℃	約1週間	警備業	警備員	被災者は建築現場で歩行者の誘導業務中、めまいを起こしたため、早退した。被災者は翌日も症状が回復せず、病院に入院した。
					50歳代	
					1年未満	
7月	15時台	32.4℃	約2週間	警備業	警備員	被災者は駅の警備業務に従事していたが、休憩時間に脱水症状のため意識を失い転倒し、頭部を負傷した。
					70歳以上	
					5年以上10年未満	
7月	11時台	33.4℃	約1週間	建築工事業	作業員・技能者	共同住宅の新築工事現場で、被災者は仮囲いの単管盛り替え作業の補助を行った後、休憩中に体調が悪化し救急搬送された。
					50歳代	
					5年以上10年未満	
7月	12時台	34.7℃	死亡	警備業	警備員	被災者は午前9時から埼玉県内の建設現場で警備業務に従事していたところ、昼の休憩時に体調不良を訴えたため応急手当を行ったが回復せず、救急車で搬送後、病院で熱中症により死亡した。
					40歳代	
					20年以上30年未満	
7月	23時台	28.1℃	約1週間	道路貨物運送業	貨物自動車運転者	被災者はトラックへの荷物の積み込み作業後、走行中に体調が悪化し、営業所到着後救急搬送された。
					50歳代	
					20年以上30年未満	
7月	14時台	34.6℃	約1週間	清掃・と畜業	作業員・技能者	被災者は鉄道車両の車内清掃後、次の作業の準備をしていたところ、体調が悪化し救急搬送された。
					50歳代	
					10年以上20年未満	

気温は災害発生時の東京大手町のデータ（埼玉県内の事案はさいたま市のデータ）である。